

5 本時の計画

(1)ねらい 四国地方の自然環境や産業の特色を人口問題と関連させて、交通網の発達が地域にもたらす影響を考察し、説明することができる。(思考力、判断力、表現力等)

(2)展開 (本時4/6)

過程	思考の流れと学習活動の流れ	時間	指導の手立て ◇ICTの活用 □評価
導入	1 本州四国連絡橋の整備前後の四国の変化を知る。 【学習問題】 四国地方のコンビニの出店率が全国に比べて高いのはなぜだろうか。	5	◇これまでの学習内容と本時の学習をつなげるために、生徒の振り返りや気づきを電子黒板に提示する。 ◇学習問題の発見に資するために、電子黒板に本州四国連絡橋整備前後の四国のコンビニ店舗数を提示する。 ・生徒のつぶやきや疑問を拾い、本時の学習問題を設定する。
展開	2 学習問題に対しての予想を立てる。 	5	・考察の視点を焦点化するために、ネームプレートを活用する。
展開	3 各自の予想を、資料を活用して調べ、まとめたことを全体で共有する。 	15	◇予想の検証に用いるため、中国・四国地方に関する資料をタブレットに用意しておき、選択して活用できるようにする。 ・必要な資料を自分で探したい生徒には、資料集や公的機関のサイトの活用を促す。 ◇交通網の整備による経年変化をつかむため、必要に応じて、画像を比較したり、重ねたりする機能を活用する。 ・交通網の整備と人口の集中や都市の発展の関係性を見いだせるように、コンビニの出店が四国地方のどの地域に集中しているかを問いかける。
展開	4 徳島県「未来コンビニ」の事例を提示し、コンビニがつけられた理由を考察する。 	15	◇「未来コンビニ」のある地域の様子や、知己の課題を視覚的に捉えるため、電子黒板に資料を提示したり、GoogleEarthを活用したりする。 ◇「未来コンビニ」が観光地としての側面も持っていることをつかむため、未来コンビニの景観を電子黒板に提示する。
整理	5 本時の学習のまとめをする。	5	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">四国地方の自然環境や産業の様子を踏まえ、四国地方の人口の集中、過疎化や高齢化などの人口問題について、交通網の発達によるよい面や課題を具体的に挙げながら説明している。(観察、発表、ノート)</div>
整理	6 本時の振り返りをする。	5	・本時の学習を自分事として捉えられるように、「今日の学習と自分/地域」の視点を設定する。

(3)授業研究の視点

- ・秋田の探究型授業を自立的に進めるための手立ては効果的であったか。
- ・授業の各段階におけるICTの活用は効果的であったか。